

## 校歌から学ぶ柏崎の素晴らしさ

全ての学校で歌い継がれる「校歌」には、児童生徒の成長を願う作詞者や地域の人々の思いが込められています。それらを理解することで、愛校心を育てることができます。さらに、歌詞の中に見られる地域や柏崎の自然や歴史文化にふれることで、柏崎や校区の素晴らしさを再認識することにもつながります。

### 1 実践の構想

社会科の歴史学習では、日本が戦争を行ってきた歴史や、戦時中の人々が苦しい生活を送っていた様子を学習します。ところが、知識を身に付けるまでにとどまってしまう場合が多く、戦時中の人々の気持ちを想像したり、平和に向けて、自分たちに何ができるのかを考えたりすることが難しくなっています。

本校の校歌の特徴は、柏崎の自然についても歌われていますが、「緑は平和を願う色」・「手をつなごう手をつなごう、世界の仲間と輪になって」・「歌おう平和をちかう歌」といったように、平和に向けての言葉が多く並ぶ校歌になっています。これは、校歌を作詞した深田信四郎さんが、ご自身で戦争の残酷さを体験したことから、平和への思いが強く込められています。世界から戦争をなくし、みんなが仲良くなって平和を作っていくという深田さんの思いが、3番の歌詞に表れています。

この校歌に込められた平和への願いを知ることで、自分たちが住む柏崎も戦争とは無縁ではなかったこと、今ある平和な生活が当たり前ではないということを理解するのが大切です。そこから、柏崎の平和な未来を作っていくために、自分には何ができるのかを考え、みんなで話し合うことで、平和の大切さを自分事として捉えさせたいと考えました。また、これからどのように校歌を歌っていきたいかを考えることで、学校や校歌に対する愛着が育つと考えました。

### 半田小学校校歌

作詞 深田信四郎  
作曲 小杉誠治

#### 一 鏡が沖の 名をうけて

さやかに かがやく この校章

いきいきと いきいきと

鏡のなかの すんだ目は

見上げる 日しの青い空

ああ 柏崎

半田小学校

#### 二

米山おろし ふけよふけ

雨の日 雪の日 風吹く日

手をふって 手をふって

あらしにむかって まつしぐら

きたえる からだを たましいを

ああ 柏崎

半田小学校

#### 三

緑のおかの 半田校

緑は 平和をねがういろ

手をつなごう 手をつなごう

世界のなかま と 輪になって

うたおう 平和をちかう歌

ああ 柏崎

半田小学校

2 全体計画

(1) ねらい

校歌に込められた願いや思いを知り、今の平和な柏崎に誇りをもち、柏崎の平和な未来のために、自分たちに何ができるのかを考える。

(2) 指導の構想

社会科「戦争と人々の暮らし」の単元を通して、日本と中国が戦った日中戦争、日本とアメリカが戦った太平洋戦争について学習する。その中で、空襲を受けた都市に関する資料から、新潟県内でも長岡市で空襲があったことに気付かせ、問題意識をもたせるようにしたいと考えました。

教科書で戦争に関する基礎的な知識を学んだ後、「長岡戦災資料館」を訪れ、長岡空襲について深く学ぶ。長岡空襲に関するDVD資料を視聴したり、実際に空襲を体験した方の話を聞いたりすることで、柏崎から近い長岡でも、空襲による被害があったということを実感させます。

さらに学習の終末段階で、本校の校歌を取り扱い、柏崎での戦争の様子について問題意識をもたせるようにしたいと思います。そこで、校歌を作った深田信四朗氏と関係が深い方をゲストティーチャーとしてお呼びし、戦時中の柏崎の様子や、半田小学校の校歌に込められた願いや思いを聞くことにしました。今の平和な生活や、豊かな柏崎市があるのは当たり前ではなく、様々な人々の苦労や平和への願いがあってこそだということ、校歌に込められた思いから気付かせます。

(3) 主な学習活動

次	時間	教科・領域	学 習 活 動
1	7	社会 [戦争と人々の暮らし]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日中戦争や太平洋戦争について知る。</li> <li>・戦時中の日本国内の様子について知り、人々の生活の苦しさを理解する。</li> </ul>
2	1	社会 [長岡戦災資料館事前学習]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長岡戦災資料館のパンフレットを読み、戦災資料館で学ぶ課題を全員で共有する。</li> </ul>
	2	社会 [長岡戦災資料館での学習]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・館内の展示や、長岡空襲に関するDVD資料を視聴し、長岡で空襲の被害があったことを知る。</li> <li>・実際に空襲を体験した方の話を聞き、戦時中の人々の暮らしや、自分たちと同じくらいの歳の子どもたちの苦労を理解する。</li> </ul>
	1	社会 [長岡戦災資料館事後学習]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・戦災資料館で学んだことや、話を聞いて感じたことをワークシートにまとめる。</li> <li>・まとめたことを学級内で意見交換し、全員で平和について考える。</li> </ul>

次	時間	教科・領域	学 習 活 動
3	1	総合的な学習 [校歌の意味を考える]	・自校の校歌の歌詞を見て、どんな意味があるか考える。 ・校歌には平和への願いが込められていることを知り、校歌の意味を知ることへの課題をもつ。
	2	総合的な学習 [ゲストティーチャーの講話を聞く]	・戦時中の柏崎の様子を知る。 ・半田小学校の校歌の歌詞に込められた願いや思いを知る。
	1	総合的な学習 [講話を聞いてのまとめ]	・ゲストティーチャーの方の講話を聞いて感じたことや、平和について考えたことをワークシートにまとめる。 ・未来の平和な柏崎をつくるために、自分たちには何ができるのかを話し合う。

### 3 指導の結果・成果

#### (1) 長岡戦災資料館見学

「長岡戦災資料館」を訪れ実際に空襲の悲惨さ実感した児童は次のような感想を述べています。

《見学後の児童の感想》



A児 今日学習で、戦争は絶対してはいけないということが分かりました。平和な世の中になってとてもよかったです。戦争はよくないということを忘れないようにして、平和に感謝して暮らしたいです。

※A児だけでなく多くの児童が、「戦争の悲惨さが分かった。」「戦争を二度としてはいけない。」「平和な現代を大切にしたい。」という記述をしていました。戦争の悲惨さ、平和であることへの幸せについて実感することができました。

B児 戦争の被害を受けた人は、そのことをずっと忘れないほど辛い思いをしてきた。自分たちもそんな思いをしたくないので、戦争は絶対にやってはいけないと思いました。そのことを伝えてくれる人がいるということは、とても大切なんだと思いました。

※戦争の体験を語っていただけることへの感謝や、戦争体験を伝えることの大切さへの気付きに関する記述がありました。

C児 戦争は二度とやってはいけないものだと言った。戦争を体験した人は少なくなっていくけれど、戦時中の人々の思いなどを、十年後・百年後まで引き継ぎたい。戦争は、多くの人々が亡くなり、多くの人々が悲しんだことなので、絶対に忘れてはいけない歴史だと思った。

D児 空襲が起きた時に生きていた人が亡くなっていき、戦争を伝えられる人が少なくなっている。今回のお話を聞いた私たちがいろいろな人たちに教えて、たくさんの人に戦争当時のことを知ってもらいたい。

※「平和のために、今回の話を伝えていきたい。」「戦争の歴史を忘れないように伝えていきたい。」のように、平和のために・戦争が二度と起こらないようにするために、自分たちに何ができるのかに関する記述がありました。



#### (2) 校歌に込められた願いに触れる

ゲストティーチャーを招いて校歌に込められた平和への願いを聞く活動を行いました。児童の感想は次の通りです。

《児童の感想》

E児 普段何気なく歌っていた校歌でしたが、その歌詞には戦争を経験した人がみんなに伝えたい気持ちや、平和と言うことがどれほど幸せなことかという思いが込められていることに気が付きました。

※「何度も歌ってきた校歌に込められた思いに気付くことができた」という記述が、多くありました。

F児 これからは、歌詞に込められている「世界の人々が仲良くなるように」という思いが伝わるように校歌を歌いたいです。

G児 戦争の恐ろしさや、平和の大切さが分かったので、「平和を願う」という思いをもちながら校歌を歌いたいです

※校歌に込められた思いや、平和の大切さを知り、自分がどのように校歌を歌いたいかという記述がありました。

H児 深田さんが思っていたこと、考えていたことを思い出しながら校歌を歌いたい。この歌を歌って、半田小学校から平和を広げていきたい。

※平和のために自分には何ができるのかについて、考えることができた児童がいました。それを校歌と関連づけて考えていました。

#### 4 まとめ

講話から戦争の悲惨な状況を理解しました。さらに、校歌に込められた願いと関連付けて考えることで、戦争をより身近に感じることができ、「平和の大切さ」を学びました。

児童の感想に見られるように、学校や校歌への愛着が生まれ、校歌を一層大切に歌っていきたいという決意が見られました。各学校の校歌に込められた思いや願いに触れることで、児童の愛校心が育ち、地域や柏崎の素晴らしさを再認識することができます。

【半田小学校 下村 大地】